


# 東横堀川 ING

東横堀川ING(アイエヌジー)は、みんなの想いや活動=INGを積み重ね、東横堀川の再編を現在進行形で進めるプロジェクトです。市民・企業・行政が一緒になり、空間的にも社会的にも水辺をひらき、つながりを再生することで、東横堀川をまちの価値として復活させることを目指しています。

## 本町橋界隈のING むかし、いま、これから

**むかし**


本町橋周辺は、江戸時代は西町奉行所、近代は初代大阪府庁や大阪博物館など、さまざまな公的施設が立地する、パブリックな活動が行われていた界隈でした。



大正時代の本町橋と大阪府立商品陳列所 (大阪市立中央図書館所蔵)

**2000年ごろ**


高度経済成長期に整備された高速道路と高い護岸で川とまちは分断され、水辺には人も船もほとんどいなくなっていました。



シティプラザ大阪建設中

**2021年~**


本町橋のオープンをきっかけに護岸が切り下げられ、再び川にアクセスできるように。水上キャンプや水上シアターなど、いろんな人のINGが生まれました。



本町橋オープン

**2023年~**

本町橋~農人橋間の護岸耐震改修工事がスタート! 着工前、長年閉ざされていた本町橋の下を開いて社会実験を実施。



東横堀川ING2023春

## 2025年 そしてこの春、3つの新しい魅力が本町橋界隈に誕生します!

- 1 本町橋~農人橋間 東側遊歩道につながる (約200m)
- 2 本町橋のライトアップがスタート
- 3 高麗橋~本町橋間 プロジェクションマッピングスタート

この魅力を活かしながら、新たにオープンした遊歩道や橋の下をより安全に、より使いやすくすることを目指して、社会実験「東横堀川ING2025春」を実施します。

これから

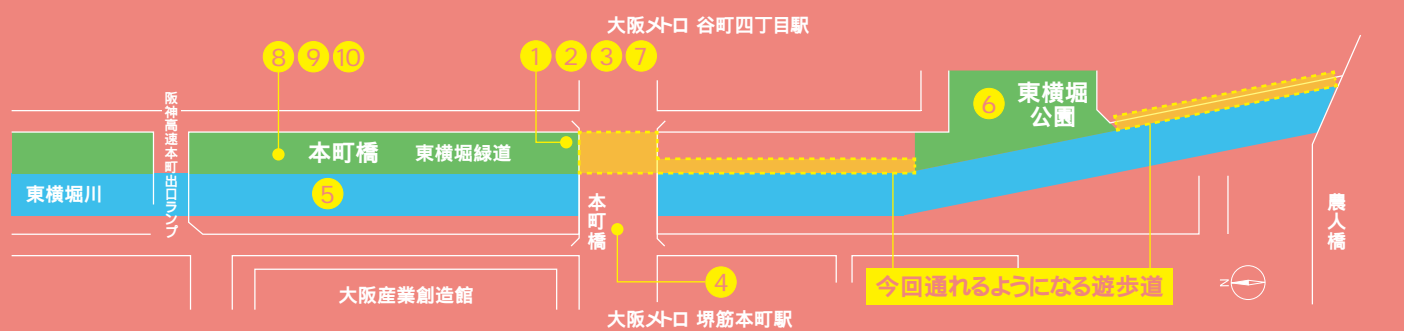
東横堀川は、中之島から道頓堀川までつながる

水辺のネットワークとして整備される予定です。(東横堀川等の水辺の魅力空間づくり基本方針、2024年3月、大阪市) →

本町橋を中心にはじまったINGによる水辺の変化は、これからも全川に広がっていきます。



	4.13(日)	4.18(金)	4.20(日)	4.26(土)	4.29(火)	5.9(金)	5.10(土)	5.11(日)
1 本町橋 Under Bridge Fes Vol.2	11:00~21:00							
2 はしのしたサルサパーティ		16:00~21:00						
3 本町橋の下でリラックスフリー yoga体験 & 東横堀川Bookマルシェ					10:00~17:30頃			
4 本町橋ライトアップ実験	4.13から期間中ずっと							
5 Waterside Projection Mapping (水辺のプロジェクションマッピング)	会期前から期間中ずっと							
6 東横堀パークデイ					10:00~19:00頃			
7 橋を巡る水と光のモニタークルーズ						18:30~20:30	18:30~20:30	18:30~20:30
8 ひがよこりパークルーズ	会期前から期間中ずっと							
9 夜の水上さんぽガイドツアー	4.18から期間中ずっと							
10 のMorning&market			7:00~10:00 11:00~16:00					

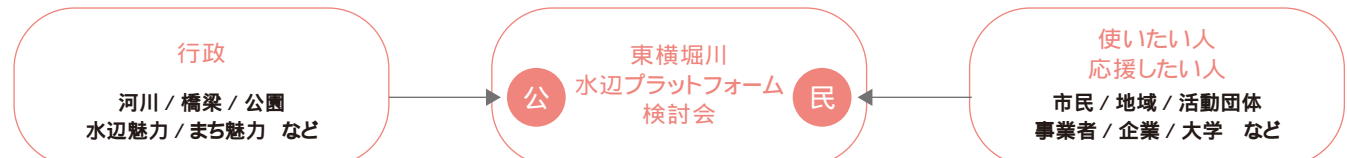


記事のプログラムの内容については、変更になる場合があります。天候により中止になる場合があります。各プログラムの詳細情報については、SNS等にて順次お伝えいたします。期間中、記録のためにスタッフが撮影を行う場合がございます。情報発信や報告のために使用いたしますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

1, 2, 3, 4 は、「東横堀川 リバーテラス 2025 春」として開催します。東横堀川では、周辺のまちと川をつなぎ、憩いながら活用できる空間をめざして、川沿いの空間の再生に取り組んでいます。本町橋~農人橋間(東側)の遊歩道オープンにあわせて、橋の下など川沿いを活用する社会実験を実施し、公民連携で育てる質の高い水辺や公園の使い方を皆さんと一緒に考えます。(大阪市建設局道路河川部河川課)

5, 6 は、「水都大阪ブリッジテラス2025春」の一つとして開催します。橋上空間は、川を通じて自然を感じる、道方を見渡せるなど貴重な空間ですが、ゴミの放置や緑化などの環境美化が十分でないといった問題を抱えています。水都大阪ブリッジテラスでは、いろんな人が関わって橋の維持管理や魅力向上をはかる。現代版の「町橋」制度づくり(公民が連携したエリア価値の向上)を志して社会実験を行います。(大阪市建設局道路河川部橋梁課)

東横堀川水辺プラットフォーム検討会とは  
水辺の遊歩道や橋の下など川沿いは、身近に自然を感じたり自由に過ごせる都心の貴重な空間ですが、人目が行き届かず安全や環境の維持が難しいという問題も抱えています。こういった課題を公民連携することで解決し、東横堀川全体のまちづくりを進めるための未来ビジョンを検討しています。



【有識者】 遠藤 橋 橋本 伸也(大阪府特別顧問、大阪市特別顧問、大阪公立大学研究推進機構特別教授、大阪公立大学観光産業戦略研究所長)、武田 重昭(大阪公立大学大学院農学研究科准教授)、原田 祐蔵(株式会社UMA design farm 代表取締役)、泉 英明(有限会社ハートビートプラン代表取締役、北浜水辺協議会理事)  
【行政】 大阪市建設局道路河川部河川課、大阪市建設局道路河川部橋梁課、大阪市建設局公園緑化部調整課、大阪市経済戦略局観光部水辺魅力担当課、大阪中央区役所まち魅力推進担当課  
【民間】 東横堀川水辺再生協議会、大阪商工会議所、一般社団法人日本シティシップ協会、一般社団法人水辺ライフ事務局

### 「東横堀川ひらくプロジェクト」がはじまりました!

東横堀川沿いにたくさんある閉鎖された場所を使うことで、まちの可能性をひらくプロジェクト。第一弾として、東横堀川の旧水門施設をリノベーションしました。水辺を魅力アップする多様な使い方にどんどん開いていきます。詳しくはこちら →



【問合せ】 東横堀川水辺プラットフォーム検討会 事務局 メール: pf@hommachibashi.jp



©大阪まちごと方骨共創プラットフォーム

# 東横堀川 ING 2025春

ついに水辺がひらく・つながる

4.13(日)  
-5.11(日)  
一部 3.20(木・祝) Start  
場所: 東横堀川  
(本町橋~農人橋・本町橋周辺)



### Program

- 本町橋 Under Bridge Fes Vol.2
- はしのしたサルサパーティ
- 本町橋の下でリラックスフリー yoga体験 & 東横堀川Bookマルシェ
- 本町橋ライトアップ実験
- Waterside Projection Mapping 水辺のプロジェクションマッピング
- 東横堀パークデイ
- 橋を巡る水と光のモニタークルーズ
- ひがよこりパークルーズ
- 夜の水上さんぽガイドツアー
- のMorning & market

東横堀川は、大阪城のお堀としてつくられた、大阪で一番古い堀川です。かつては船による物流の中心地で、きれいな水を生かした産業も盛んでした。高度経済成長期に水質は悪化、高速道路や高い護岸で川とまちは分断されてしまいましたが、いま水辺をひらき、川とまちのつながりを取り戻す活動が広がっています。いろんな活動が実を結び、いよいよこの春、本町橋から農人橋まで、川沿い(東側の約200m)が歩けるようになりましたさらに、本町橋のライトアップや高架のプロジェクションマッピングもはじまります。「東横堀川ING2025春」で、生まれ変わった本町橋界隈を体感してみてください。

主催: 東横堀川水辺プラットフォーム検討会

